

福岡県立図書館報

令和2(2020)年3月 No. 75

令和へ受け継ぐ福岡県の資料

～映画フィルム 昭和の「大嘗祭悠紀主基斎田」～



【種粃「昭代」を苗代へ播種】

大嘗祭とは、天皇の即位ののちに、はじめて行われる新嘗祭のことです。

当館では、福岡県の脇山村（現在の福岡市早良区）が主基斎田に選ばれた昭和の大嘗祭の映画フィルムをデジタル化し、デジタルライブラリに公開しました。

※ P1に関連記事があります。



【御田植祭での八乙女舞】

目次			
デジタルライブラリ公開資料 (令和元年度)	P1	ラグビーワールドカップ(郷土ミニ展示) 中村哲氏の足跡と国際貢献する 郷土出身者について(企画展示)	P5
ホームページリニューアル ・システム更新	P2	「健康・医療コーナー」リニューアル 「放送大学コーナー」新設	P6
国立国会図書館へ「録音図書」 登録開始・障がい者サービスのページ	P3	福岡県立図書館 放送大学福岡学習センター 事業連携協定調印式・記念講演会	P7
高校生のためのビジネスプラン セミナーの実施	P4		

デジタルライブラリ公開資料（令和元年度）

所蔵する貴重資料や郷土資料をデジタル化して、ホームページ上の「デジタルライブラリ」に掲載しています。

（URL：<https://www.lib.pref.fukuoka.jp/hp/kyoudo/page/index.html>）

平成31年4月にホームページに公開した3点の資料を紹介します。

○ 昭和の大嘗祭悠紀主基斎田（表紙に図版を掲載）

旧農林省が頒布していた映画フィルムです。福岡県立農業試験場（現福岡県農林業総合試験場）から寄贈されました。35ミリフィルム3巻を複製した16ミリフィルムをデジタル化しました。



【映画フィルム「大嘗祭悠紀主基斎田」より】

○ 福岡県立図書館報（戦前）

当館の館報は、「福岡県立図書館の各時代と館報の紹介」のページに公開しています。戦前のものは戦災で焼失して数点のみの掲載でしたが、今回、大阪府立図書館と国立国会図書館の蔵書から、当館が所蔵していない号のデジタルデータを追加して、ページの充実を図ることができました。

○ 筑後河水災惨状一斑

筑後川三大洪水に数えられる明治22年7月の筑後川氾濫の様子を、久留米（有馬）藩御用絵師であった三谷有信が描いた絵巻です。



この絵巻は11の絵図と本文からなり、12枚目には三谷有信の所信が付されています。

絵図上部に「テキスト表示」の案内を設けて、クリックすると記述された毛筆の本文が活字として表示されるようにし、読みやすくしました。

【明治二十二年七月 福岡県水災惨状之図 筑後河水災惨状一斑】

なお、令和元年度は、次の2冊をデジタル化しました。

- ①『東路日記』江戸時代末期に筑前国底井野の小田宅子がお伊勢詣の旅をした記録
- ②『明治巳丑福岡県水災史』明治22年7月の筑後川水害報告を県が発行した記録

これからも図書館資料の保存と利用促進のために、資料のデジタル化を推進していきます。どうぞご活用ください。

※ Flash 終了に伴い、絵図等の拡大表示機能 Zoomify の HTML5 への移行を行いました。

（郷土資料課）

ホームページリニューアル・システム更新

平成31年2月に福岡県立図書館のシステムが新しくなったと同時に、ホームページも以前より見やすく使いやすいよう、大幅にリニューアルしました。

トップページは問い合わせの多い情報をすぐに得られるように配置を見直しました。

例えば住所、連絡先、開館状況はできるだけ画面左上に配して最小の手順で確認いただけるようにしています。

また、今回のリニューアルで、WebOPACはクールで力強いデザインとなり、スタイリッシュに一新しました。

検索の際に所蔵タイトルを候補として表示したり、関連するキーワードを表示したり、著者名、出版社、出版年など様々な条件をクリックするだけで、絞り込みも可能となり、目的の資料に容易にたどり着くことができるようになりました。



【リニューアルした福岡県立図書館HP・WebOPAC】

さらに、館内OPACも誰にでも楽しく使いやすく図書にふれていただくために「森のどうぶつたち」をテーマに取り入れ新たなデザインとともに使いやすくなりました。

加えて、本館1階ロビーと別館1階ロビーにはデジタルサイネージを導入し、図書館でのイベントやお知らせをわかりやすくご覧いただくことができました。

今回のホームページリニューアル、システム更新を皮切りに今後も、すべての方が使いやすい図書館を目指してまいります。



【デジタルサイネージ】

（企画協力課）

国立国会図書館へ「録音図書」登録開始

令和元年8月、国立国会図書館の「視覚障害者等用データ送信サービス事業」に参加し、データ提供館として録音図書（デイジー図書）の登録を始めました。

このことにより、当館が製作したデイジー図書は、CD形式に加えて、インターネットでも利用できるようになりました。（※）

新刊タイトルを中心に、順次登録数を増やしていく予定です。



【福岡中央ロータリークラブ寄贈のプレクストーク】

（※）国立国会図書館に登録された録音図書データを受信するには、国立国会図書館の利用登録が必要です。サピエ図書館の個人会員はすぐに利用できます。

録音図書とは

読書に障がいのある方を対象に製作された本に書かれた内容を音声化した資料です。

（資料課）

障がい者サービスのページ

読書に困難のある利用者へのサービスとして、大活字本やデイジー図書、マルチメディアデイジー図書等を収集・提供しているほか、拡大読書器や拡大鏡、リーディングトラッカー、コミュニケーションボード、筆談ボード等の補助具も準備しています。

これらのサービスを、利用者の皆様がホームページ上で簡単に確認できるよう、「障がい者サービスのページ」を作成しました。

「大きい活字の本」・「録音図書(デイジー)製作タイトル一覧」・「弱視の方、目の不自由な方の御利用について」・「耳の不自由な方の御利用について」の4項目に分けて、サービスの説明や、補助具、関係機関等の紹介をしています。

※ホームページTOP画面下

「TOPICS」中>テーマ別サービス2>
障がい者向け>障がい者サービスのページ



【拡大読書器】



【大活字本コーナー】

（参考調査課）

高校生のためのビジネスプランセミナーの実施

令和元年6月29日(土)、日本政策金融公庫が主催する「第7回高校生ビジネスプラン・グランプリ」の開催に合わせて、当館では初めてとなる『高校生のためのビジネスプラン作成セミナー』を、日本政策金融公庫との共催で実施しました。

福岡県内の高校生を対象に、アイデアの発想法から収支計画までビジネスプランの作成方法を学ぶことで、将来を担う若者の起業意欲へとつなげることが目的です。

当日の参加者は23名。福岡地区をはじめ筑豊地区や筑後地区など、県内の多くの学校が参加しました。

初めに、当館の担当者から、図書館の利用案内、普段あまり目にする機会のないビジネス関連図書の紹介、また、Mienaなどビジネスに役立つデータベースの紹介を行いました。

続いて、日本政策金融公庫から招いた講師がビジネスプラン作成の講義をしました。

まず、ビジネスアイデアの発想では、「誰が・何を求めているか・求めに応えるために必要なものは」という観点から、生徒たちが考えをまとめ発表し、続く、ビジネスプランの作り方では、顧客の絞り込み・具体的な販売方法・必要な経営資源・収支計画の作成について学びました。

参加した生徒は、積極的に取り組み、講師の個別アドバイスを受けながら、ビジネスプランシートを作成することができました。



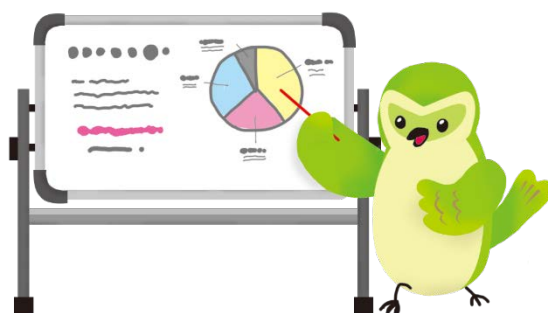
【講義の様子：ビジネスアイデアの発想】



【作成の様子：ビジネスプランの作り方】

アンケートでは、全員が「とても役に立った」と回答し、有意義なセミナーとなりました。

後日、第7回高校生ビジネスプラン・グランプリが開催され、セミナーに参加した生徒も応募し、そのうち久留米大学附設高校が「高校生ビジネスプラン・ベスト100」に選ばれました。



(参考調査課)

福岡県も会場に！ラグビーワールドカップ開催

～郷土ミニ展示～

令和元年9月から11月にかけて「ラグビーワールドカップ2019」が日本で開催され、福岡県では、福岡市の東平尾公園博多の森球技場で3試合が行われました。

このラグビーワールドカップ開催にちなみ、令和元年8月1日（木）から11月3日（日）まで、3階郷土資料室前にて「福岡県ラグビーのあゆみ」をテーマに展示を行いました。

福岡県にラグビーが伝えられた大正時代から、ラグビー王国と称され、多くの人々に親しまれるスポーツとなった現在までを当館資料を使って紹介しました。



【本物のラグビーボールを展示】

また、地元のラグビーチームのコカ・コーラ レッドスパークスが使用するラグビーボールを展示し、多くの方に実際にボールを触っていただきました。

図書館でラグビーの感動を身近に感じてもらえたのではないのでしょうか。

（郷土資料課）



【パネルやのぼりの展示】

中村哲氏の足跡と国際貢献する郷土出身者について

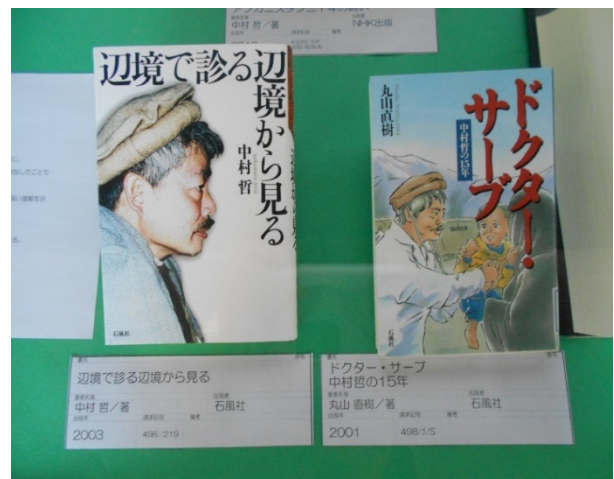
～企画展示～

アフガニスタンやパキスタンで、かんがい水利事業や食糧支援など幅広い活動を行った、国際NGO団体「ペシャワール会」代表の中村哲氏が、令和元年12月にアフガニスタンで凶弾に倒れました。

福岡県立図書館では、哀悼の意を表するとともに、中村氏の遺したメッセージから何かを感じとっていただくことを願って、令和2年1月5日（日）から2月27日（木）まで、企画展示を行いました。

中村氏の活動や経歴、受賞歴、所蔵する著作・関連書籍とあわせて、生前のエピソードや医療支援などを紹介して、中村氏の功績をたたえました。

あわせて、「世界に貢献した郷土の人々」と題し、インド各地の砂漠地帯の緑化に貢献された杉山龍丸氏、日本兵の遺骨調査事業に尽力を注がれた井本勝幸氏、スーダンで医療支援の活動を行う特定非営利活動法人ロシナンテス理事長の川原尚行氏を紹介する展示を行いました。



（参考調査課）

本館1階別室に

「健康・医療コーナー」をリニューアルしました

病気や薬、治療方法などの身近な健康・医療情報から、医療・看護関係者のための専門的な情報まで、また、病気との向き合い方を知る資料として、患者や近親者の体験をまとめた闘病記など、健康・医療にかかわる様々な本を取り揃えて、本館1階別室に「健康・医療コーナー」として拡充しました。

医療機関主催の講演のお知らせや医療関係のチラシやパンフレット、国立がん研究センターから寄贈いただいた「がん情報ギフト」など、冊子も幅広く置いています。



(参考調査課)

「放送大学コーナー」を新設しました



令和2年1月、福岡県立図書館と放送大学は事業連携協定を締結し、放送大学から教科書344冊を寄贈していただきました。

本館1階に「放送大学コーナー」を設置し、閲覧、貸出できるようになりました。相互貸借も可能です。ぜひご利用ください。



【放送大学教科書】



【放送大学コーナー】

(資料課)

福岡県立図書館 放送大学福岡学習センター 事業連携協定調印式・記念講演会

令和2年1月18日（土）、放送大学福岡学習センターとの事業連携に関する協定の調印式・記念講演会を実施しました。

協定の内容は、放送大学から開講科目の教科書の寄贈を受け、福岡県立図書館が「放送大学コーナー」を開設し、双方の主催事業や広報活動に協力するというもので、同様の協定は、全国で4例目です。



【福岡県立図書館・放送大学事業連携協定調印式】



【近藤成一氏 講演】

調印式後の記念講演会では、放送大学附属図書館長で東京大学名誉教授の近藤成一氏に「中世の博多」と題し、御講演をいただきました。

実際に先生が自転車で現地を回り撮影された写真を交えながら、中世の博多について熱弁を振るわれ、また、来場者からの質問にも熱心にお答えいただき、大盛況のうちに終了となりました。

会場には、たくさんの方に来場いただき、「歴史の見方、考え方が深まりました」「近藤先生のお話をもっとお聞きしたい」などの感想をいただきました。

（企画協力課）

編集・発行/令和2年3月25日 福岡県立図書館

〒812-8651 福岡市東区箱崎 1 丁目 41-12

TEL (092) 641-1123 (代)

FAX (092) 641-1127

ホームページ <https://www2.lib.pref.fukuoka.jp/>

Twitter @fukuoka_preflib



福岡県立図書館キャラクター

「ふっきょん」